



# アンケート調査結果(概要版)

## 1. アンケート調査の方法と回収結果

### 【調査の方法】

配付方法：郵送配布  
 回収方法：郵送回収、役場での直接回収  
 実施期間：平成31年4月1日～15日

### 【回収結果】

発送数：2,500通  
 返送数：1,114通  
 回収率：44.6%

## 2. 調査結果

### 2-1. 回答者の属性について

#### 【年齢】

・70歳から79歳の割合が23.4%と最も多く、次いで60歳から69歳の割合が22.4%と多くなり、高齢者の回答者数が多い結果となっています。

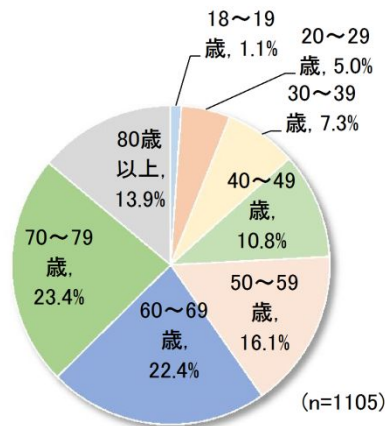


図1 年齢構成比

#### 【山田町での居住年数】

・30年以上の居住者の割合が78.4%と最も多く、次いで20年から30年の居住者の割合が9.1%となっています。また、震災後(居住年数5年未満)の居住者の割合は4.4%となっています。

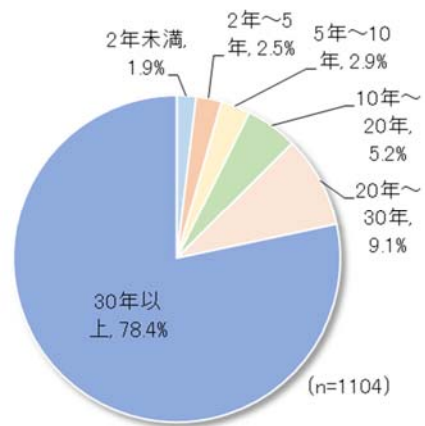


図2 居住年数構成比

### 2-2. 現在のお住まいについて

#### 【お住まいの地区】

・山田地区の居住者の割合が32.6%と最も多く、次いで船越・田の浜地区の割合が20.6%、豊間根地区の割合が19.0%となっています。  
 ・回答者の居住地区は、地区別世帯構成比を概ね反映したのとなっています。

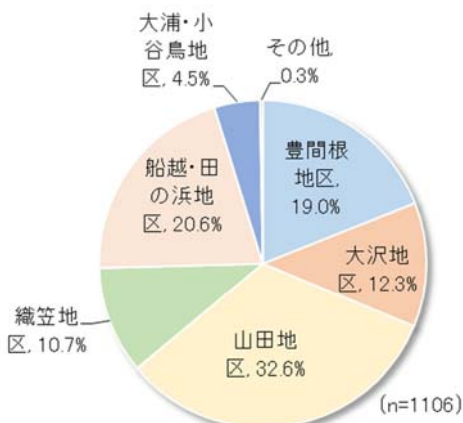


図3 地区構成比

#### 【お住まいの住宅】

・お住まいの住宅の種類は、戸建ての持ち家の割合が84.7%と大部分を占めています。

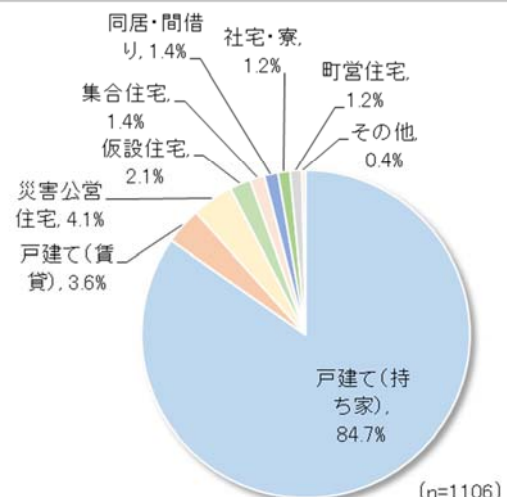


図4 住宅種別構成比

## 2-3. 本町の住みやすさ暮らしやすさについて

### 【現状の満足度】

・現状の満足度は、「三陸縦貫自動車道等の整備による広域幹線道路の利便性」が最も高く、次いで「山並みなどの自然の美しさ」が高い結果となっています。

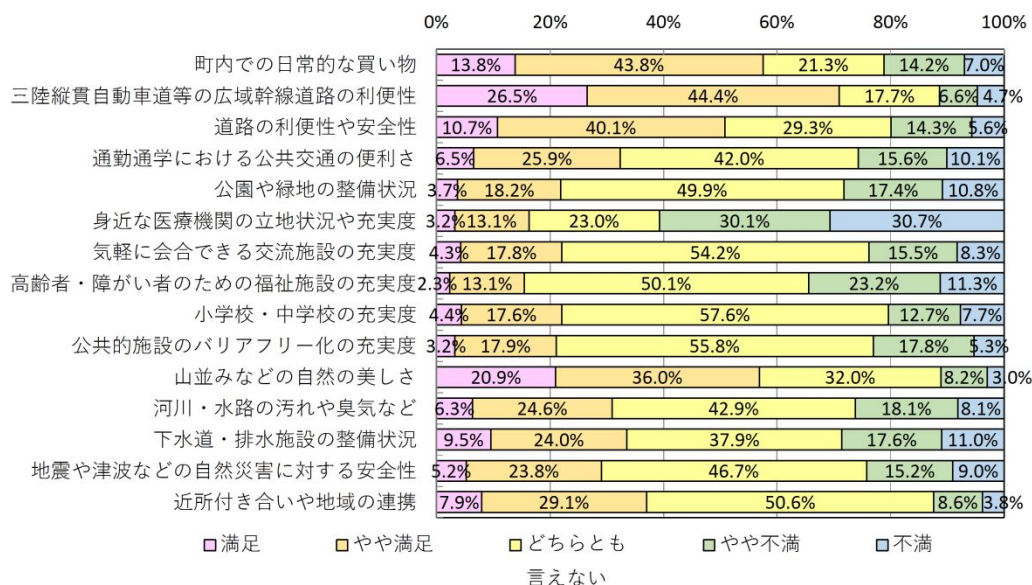


図5 現状の満足度

### 【将来の重要度】

・将来の重要度は、「身近な医療機関の立地状況や充実度」と「地震や津波などの自然災害に対する安全性」が高い結果となっています。

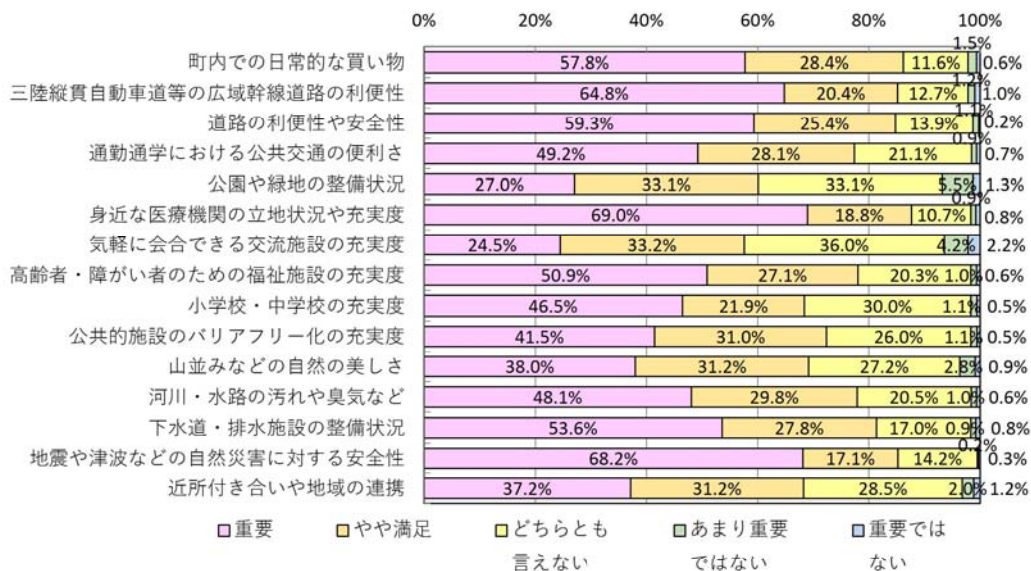


図6 将来の重要度

### 【定住意向】

・「現在の場所で住み続けたい」の割合が65.5%を占めており、「他の市町村に移りたい」の割合である5.8%を大きく上回っています。

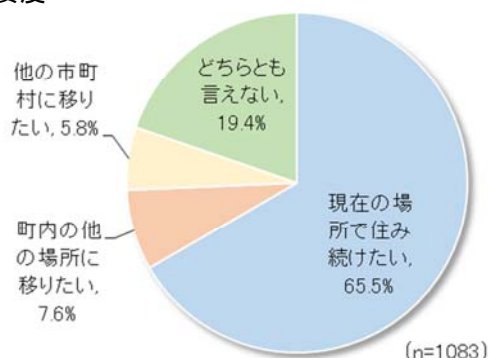


図7 定住意向構成比

## 2-4. まちの将来像について

### 【理想とするまちの将来像】

- ・「医療や福祉を重視したまち」の割合が75.3%で最も多く、次いで「安全なまち」の割合が56.9%となっています。

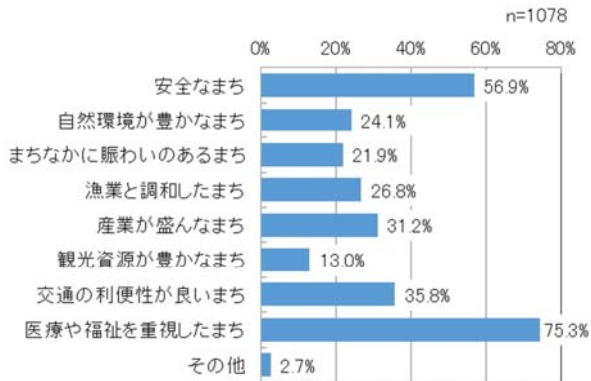


図8 まちの将来像

## 2-5. 将来の土地利用について

### 【理想とする将来の土地利用】

- ・「公共施設や医療機関などの公益施設が充実したまち」の割合が64.4%で最も多く、次いで「防災や防犯性に優れた安心で安全なまち」の割合が54.8%となっています。

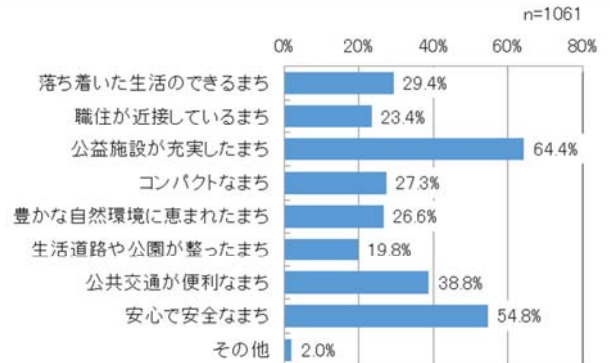


図9 将来土地利用意向

## 2-6. 主な交通手段と公共交通の利用について

### 【主な交通手段】

- ・主な交通手段は、「自家用車（自分が運転）」の割合が63.9%で最も多く、次いで「自家用車（家族等が運転）」の割合が17.5%となっており、自家用車利用が全体の8割を占めています。

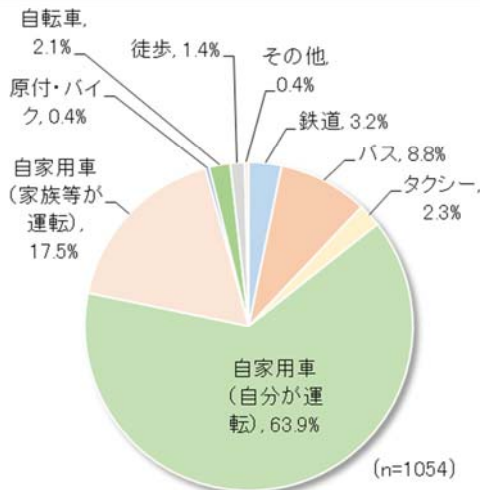


図10 交通手段構成

### 【公共交通の利便性向上時における転換意向】

- ・「公共交通を利用すると思う」の割合が42.2%となっており、「あまり公共交通を利用しないと思う」の割合が35.7%となっています。

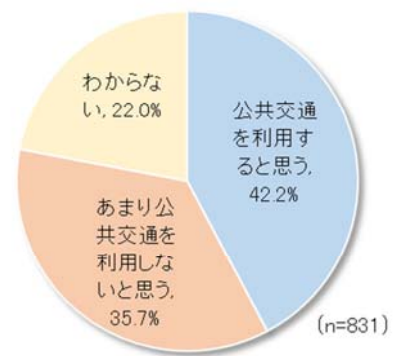


図11 公共交通への転換意向割合

## 2-7. 都市施設の整備について

### 【重要だと感じる都市施設の整備】

- ・「災害に強い道路網の整備」の割合が78.5%で最も多く、次いで「利便性の高い公共交通の充実」の割合が62.5%となっています。

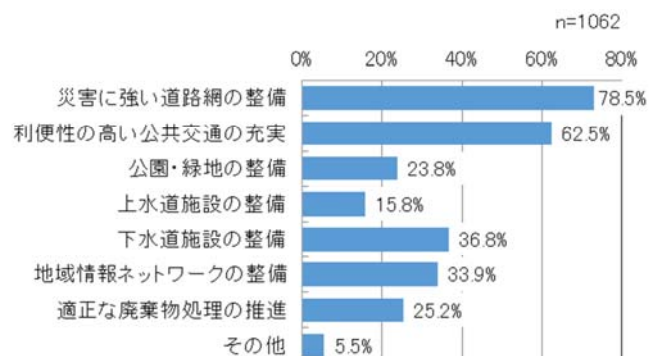


図12 都市施設整備意向

## 2-8. 防災について

### 【重要だと感じる防災対策】

・「緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅」の割合が57.0%で最も多く、次いで「非常用施設（消火栓、給水施設）の確保（数、場所）」（44.3%）、「避難場所（公園、広場など）の確保」（44.0%）、「建物や橋梁などの耐震性の強化」（43.0%）と続いています。

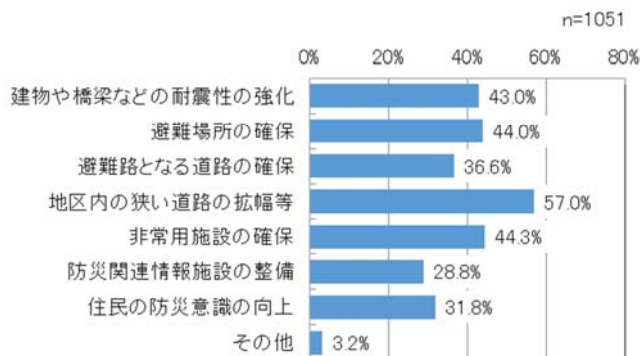


図13 防災対策意向

## 2-9. まちづくりへの参加について

### 【まちづくりへの参加経験】

・まちづくりの取組や活動に参加したことが「ない」とした回答した人が84.4%、「ある」と回答した人が15.6%となっています。

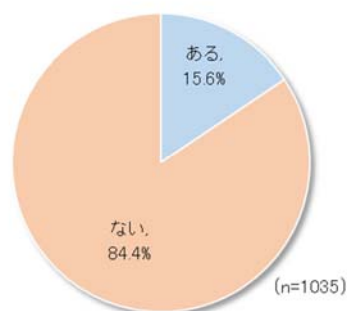


図14 まちづくり参加割合

### 【まちづくりへの取組に必要なと感じること】

・「地域の情報提供（人口、歴史、基盤整備の状況など）」の割合が56.9%で最も多く、次いで「まちづくりへの人的・財政的な支援」の割合が55.5%となっています。

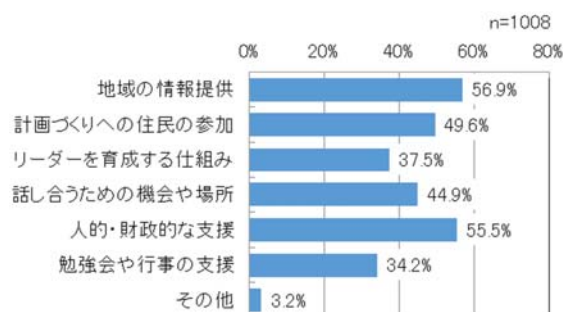


図15 まちづくり参加の取組

## 2-10. 自由意見について

### 【今後のまちづくりに期待している主な意見】

・今後のまちづくりに期待している意見として最も多かったのが「産業・観光・イベントの振興」に関するものであり、次いで「企業誘致・働く場の確保」、「まちづくりの復興」、「町職員への期待」、「子育て・教育への支援」と続いています。

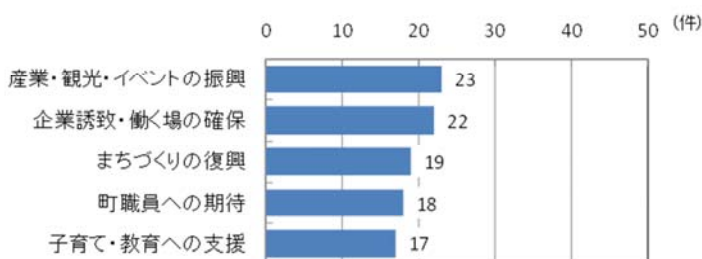


図16 今後のまちづくりに期待している自由意見

### 【改善が必要と感じている主な意見】

・改善が必要と感じている意見として最も多かったのが「道路の整備状況」に関するものであり、次いで「高齢化対策」、「バス対策」、「医療対策」、「人口減少対策」と続いています。

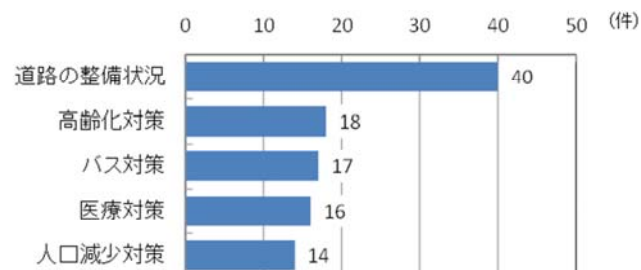


図17 改善が必要と感じている自由意見